

令和2年度 愛知県糖尿病性腎症重症化予防研修会 (事業管理・運営者編)

研修実施報告

1. 日程・内容等について

【方向性】

感染症拡大予防のため、インターネットを利用したweb研修を実施

【期間】

令和2年8月21日(金)午前10時00分から9月18日(金)午後5時00分まで

【対象者】

市町村・県・協力医療機関等で糖尿病性腎症重症化予防や保健事業の計画・運営に携わっている方

【方法】

動画配信サイト(YouTube)の限定公開を利用し、参加申込者が講義動画を視聴する

【カリキュラム】

テーマ		
「愛知県の糖尿病性腎症重症化予防事業の実態と地域関係者と連携した取り組み」		
内容		
講義 「地域における糖尿病性腎症重症化予防の必要性」	あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 医師	古川 麻里子
講義 「糖尿病性腎症重症化予防事業に関する愛知県の実態」	愛知県保健医療局健康医務部国民健康保険課	峯村 奈穂
演習 「KDBを活用した糖尿病性腎症対象者の抽出方法」	愛知県国民健康保険団体連合会	柴田 和幸
講義 「糖尿病性腎症重症化予防プログラムを効果的・効率的に進めるために」	あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 保健師	栄口 由香里
事例紹介 「地域関係者と連携した取り組み事例」	清須保健所 総務企画課 総務・企画グループ 豊田市 保健部 地域保健課	堀江 孝太郎 山下 春香

本年度は「愛知県の糖尿病性腎症重症化予防事業の実態と地域関係者と連携した取り組み」をテーマに6人の講師に講義や事例紹介、演習をしていただきました。

●「地域における糖尿病性腎症重症化予防の必要性」

当センターの古川医師より、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの概要と早期に取り組む予防効果、重症化予防事業に取り組む必要性を説明し、事業の進め方のポイント、地域連携の重要性について学びました。

●「糖尿病性腎症重症化予防事業に関する愛知県の実態」

愛知県保健医療局健康医務部国民健康保険課の峯村様より、県内の糖尿病や透析患者の推移や医療の現状、糖尿病性腎症重症化予防事業の取り組み状況等について講義をしていただきました。

●「KDB を活用した糖尿病性腎症対象者の抽出方法」

愛知県国民健康保険団体連合会の柴田様より、KDBシステムや糖尿病性腎症対象者概数把握ツールの操作の手順を丁寧にご説明いただき、効果的な対象者抽出方法、評価について演習をしていただきました。

●「糖尿病性腎症重症化予防プログラムを効果的・効率的に進めるために」

当センターの栄口保健師より、PDCAに沿った効果的な重症化予防事業の進め方として、進捗管理シートの活用方法や、地域連携の際に役立つツールや資料について、長期追跡体制と事業の引継ぎの重要性について紹介しました。

●「地域関係者と連携した取組み事例」

清須保健所総務企画課総務・企画グループの堀江様より、管内市町の連携調整及び尾張中部地域版プログラムなどの二次医療圏単位での取組みを事例紹介していただきました。

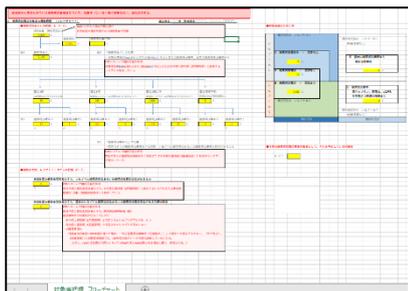


●「地域関係者と連携した取組み事例」

豊田市保健部地域保健課の山下様より、豊田市の現状及び事業の内容や、連携会議の流れをお示しいただき、地域関係者間で課題を共有し、具体的内容を協議することの重要性について事例紹介していただきました。



●レポート内容



KDB システムから対象者一覧を抽出し、愛知県国民健康保険団体連合会提供「糖尿病性腎症対象者概数把握ツール」にて、糖尿病性腎症対象者概数把握フローチャートを出力しました。

本帳票では、医療未受診者や中断者の抽出ができるため、現状の把握や、今後の事業・活動の指標となります。

2. 申込状況・視聴回数について

【申込者数】166名（男：31名、女：135名）

【所属別 申込者数】

県	保健所	市町村	医療機関	その他(国保連・社協等)
1名	11名(7か所)	94名(40か所)	27名(18か所)	33名(7か所)

【職種別 申込者数と割合】

医師	薬剤師	保健師	管理栄養士	事務職	その他
21名 (12.7%)	2名 (1.2%)	95名 (57.2%)	20名 (12.0%)	22名 (13.3%)	6名 (3.6%)

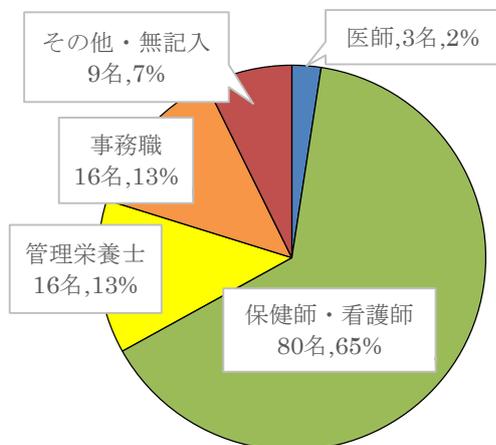
【視聴回数】407回

3. アンケート結果について

【回収状況】 124 名から回収（回収率 74. 7%）

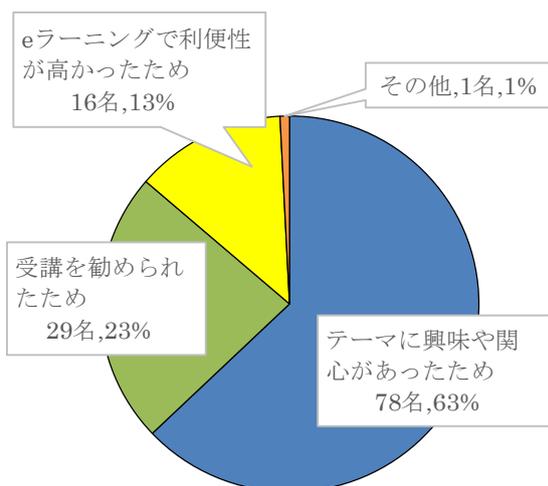
【質問項目のまとめ】

（1） 回答者の職種



職種	人数(名)
医師	3
保健師・看護師	80
管理栄養士	16
事務職	16
その他・無記入	9

（2） 受講した理由

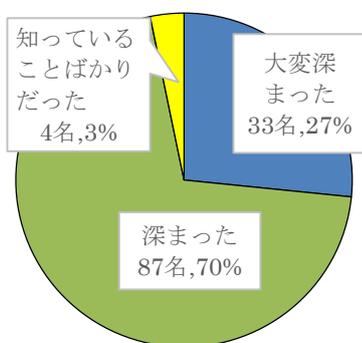


（設問から最も近いものを1つ選んでもらった）

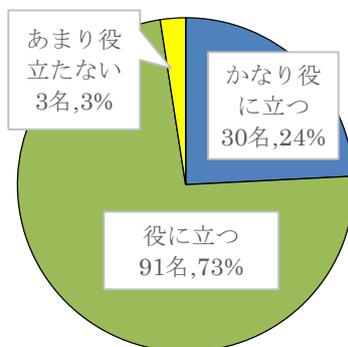
自由記入欄より

- ・複数の職員が受講できたのがよかった。
- ・移動時間がなく、通常業務にすぐに戻れる点がよかった。
- ・今年度より重症化予防の担当になったが内容を十分にわからないため、研修会を希望していた。

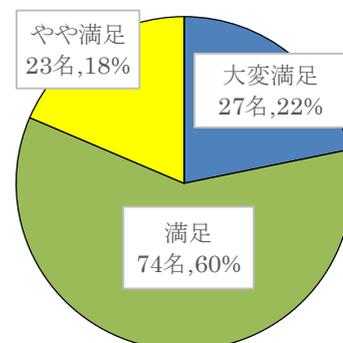
（3） 知識の深まり



（4） 役立ち度



（5） 満足度



(6) 受講者の感想（自由記載から一部抜粋）

<研修全体について>

- ・糖尿病性腎症予防事業の対象者の選定基準や関係者との連携の必要性などが、今後進めていくにあたっての参考にとともなりました。
- ・愛知県の糖尿病患者の状況や糖尿病性腎症重症化予防の必要性について理解を深めることが出来た
- ・主担当課は、他課になるため、自分はKDBシステムを操作したことがなく、活用の仕方はおろか、システムの起動・操作方法も知らない。まずは触ってみようと思う。
- ・レポート作成を通して KDB の活用の方法を学ぶことが出来て良かったです。未受診者への支援も課題であり、検討が必要と感じました。また医師会との連携の重要性を改めて感じました。
- ・現在、直接関わってはいないですが、概念から保健所・市町村などそれぞれの事例まで体系的に学ぶことができ、理解を深めることができました。

<web 研修に参加して>

- ・web 研修は自分の仕事のペースに合わせて時間を決めて受講できるので参加しやすい。
- ・全体の時間として適当でした。プラザに出向かなくても、オンラインで受講が十分可能ということが分かりました。
- ・時間の確保は大変だったが、気になる所を何度も聞きなおすこともできて、普段よりも短い研修だが、理解しやすくてよかった。

<次回セミナーの要望>

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体化における糖尿病性腎症予防の先進事例
- ・医師会との連携の取り方について。先行事例があれば具体的に知りたいです。
- ・糖尿病性腎症患者に対する地域の保健師・看護師・管理栄養士の食事指導の実例
- ・高血圧対策について、県やほかの市町村がどのように実施しているのか知りたい。
- ・KDB システムを実際に触ってみたい。どんな情報が出せるのか等を体験することで、業務の参考としたい。
- ・腎症 1~2 期対象者への効果的・効率的な事業の進め方や事例（情報提供や集団教育のあり方）、コロナ下での事業の進め方・保健指導の留意点・有効な媒体や伝え方（感染予防上の血糖コントロールメリット等）
- ・健康保険組合での重症化予防が、国保に移られた時にどのように繋がっていくのか。そうしていくためにどうしたらよいかをより深めたいです。

多くの皆様から、ご意見をいただきました。ありがとうございました。